

組織力で明るい保険業界を

2024年度定時総会を開催

長野代協

長野代協は5月24日、松本浅間温泉「ホテル玉乃湯」で2024年度定時総会を開催した。最初に今期で退任する福嶋利行会長の挨拶に続き、損保協会関東支部長野保保会長代理でありおニッセイ同和損保長野支店地域戦略室長の菅野大助氏と日本代協理事の雨宮豊氏が来賓の祝辞を述べた。

2年連続で5冠達成

205店維持し組織率53%に

総会では6つの議案すべてが承認可決された。第1号議案の事業報告では福嶋会長が2023年度を総括し、損保業界のDX化の進行やカルテル問題、BM社の不正問題などを振り返ったほか、長野代協が「組織の力で明るい保険業界を」というスローガンのもと、会員一人ひとりが業界を盛り上げるために努力してきてきた結果、2年連続で5冠を達成できたと改めて報告した。



福嶋氏

具体的な実績については、仲間づくりが目標7店に対し7店の加入があり、205店の維持ができ組織率は53.0%となったこと、募集人の資質向上に対してはコンサルティンクコース受講者が目標16人に対し28名となり目標を大きく超えたこと、日本代協アカデミーについては21名の目標に対し22名の受講となったこと、CSR活動について

は、ぼうさい探検隊が目標3件に対し5件を達成することができ、企画環境委員会において社労士認定が目標21店に対し23店と目標達成ができたことなどを挙げた。

一方、事業継続力強化計画・BCP策定においては周知不足のため顧客にまで伝えることができていないことを反省点とした。また、提携事業の見直し、ラジオCMでの代協活動PR、小学生への防災減災啓発下敷きの配布や、事務局のセキュリティ対策、Microsoft Teamsの導入、その他今年度における長野代協各支部の活動や日本代協および信越ブロック協議会の活動等を報告した。

今総会は役員改選期にあたり、第3号議案の役員任期満了に伴う改選に関する件が承認された。新理事による第1回理事会が開催され、中澤純一理事が新会長に選任された。

第4号議案の2024年度事業計画承認の件では、中澤新会長が「長野代協が創立70周年を迎えることについて、諸先輩をはじめ会員の様々な活動が継続されてきたことの結果を土台として、課題に取り組み会員を支援し、業界がより良い方向に進んでいくよう事業活動を策定した」と説明。長野代協の活動の基盤である「集い、語り」

の実践、本業に有用な組織だと評価されるような活動、効果的で効果的な活動の推進、代理店組織体制の多様化への対応、若手会員・女性会員の参画推進、会員自身が徹底して「不正をしない、させない、許さない企業文化」を作り上げ顧客保護を図ることを基本的な考え方とし、それぞれの具体的な取り組みとして、組織力の強化、代協活動の活性化、教育研修事業、代理店価値向上策の推進、実効性あるCSR活動の展開、広報活動の展開、一般社団法人としての体制整備と運営、70周年記念式典の実施について計画を述べた。

総会終了後には表彰式が行われ、優秀支部に東信支部、優秀委員会にC

SR委員会、優秀会員に山口哲也氏、功労者に吉江孝氏が選ばれ、表彰と金一封が贈呈された。また、新入会員紹介およびバッチ貸与式、新規賛助会員の紹介とシニア会からの報告も行われた。休憩後は成年後見制度をテーマに、松本市社会福祉協議会成年後見支援センターの田中さつき氏による講演が行われ、聴講者約60名が成年後見について理解を深めた。

懇親会では保険会社の参加はなかったものの、来賓と会員およそ60名が参加。松本市の臥雲義尚市長も列席し、長野県内最多の社会増となった松本市においては防災・災害対策を進めるうえで、より保険業界との連携が必要だと述べた。

新たに中澤純一氏を会長に選任



中澤氏

広島県代協(井出秀樹会長)は5月22日13時30分から、第16回定時総会を広島市中区のあいおいニッセイ同和損保広島支店5階会議室で開催した。

総会審議に先立ち挨拶した井出会長は、「昨年度は新型コロナウイルスが5類になったことにより、通常通りの代協活動ができるようになった。これから我われ代協会員は自己啓発自己研鑽に努め、顧客本位を徹底し、お客様からの信頼を一層確かなものにしたければならぬ。今年も代協では皆一資格取得に向けた取り組みへの支援に対してお礼に進める。『集い、語り、高め合う』をスローガンに共に成長していきたい」と挨拶した。

続いて、損保協会中国支部の毛利吉成委員長が来賓挨拶に立ち、昨年度の諸問題に対してお詫びと顧客本位の業務運営、信頼回復に向けて取り組む決意を述べるとともに、同代協の中小企業へ

合計184名となったことにより、総会が成立したことが報告された。6つの付議事項はすべて可決されたが、第6号議案「その他」では、女性・若手活躍委員会発足について審議され、日本代協のコンベンション分科会で講師を務めた今林砂緒里氏が委員長に就任した。また、引き続き開催された臨時役員会では井出会長が再選され、

「先の2年間、各委員会の皆様と一緒に頑張ってきた。とくに昨年度は7冠という目標を達成できたことに感動している。また、新理事を迎え、新たな目標に向かって協力し合い頑張っていく」と抱負を語った。

広島県代協 第16回定時総会を開く

「集い、語り、高め合う」顧客本位を徹底し、信頼確かなものに



総会の様子



井出会長



毛利委員長



小俣氏

新入会員(8会員)の紹介後、議長から、会員数211名のうち出席者47名、委任状137名のいると強調した。

「代理店店経営と代協活動」をテーマに記念講演を行った。同氏が代表取締役を務める株式会社Fia gentの経営手法を紹介しながら、それらは代協仲間を通じて得た情報が大変な役割を果たしている」と強調した。

休養を挟んで、日本代協の小俣藤夫副会長が「代理店店経営と代協活動」をテーマに記念講演を行った。同氏が代表取締役を務める株式会社Fia gentの経営手法を紹介しながら、それらは代協仲間を通じて得た情報が大変な役割を果たしている」と強調した。